

現場から始める業務改革

～DX人材育成の取り組み～

2024年10月21日
学校法人日本女子大学
管理部 システム課
課長 北 真一

「これからも変わり続けていく」改革している大学

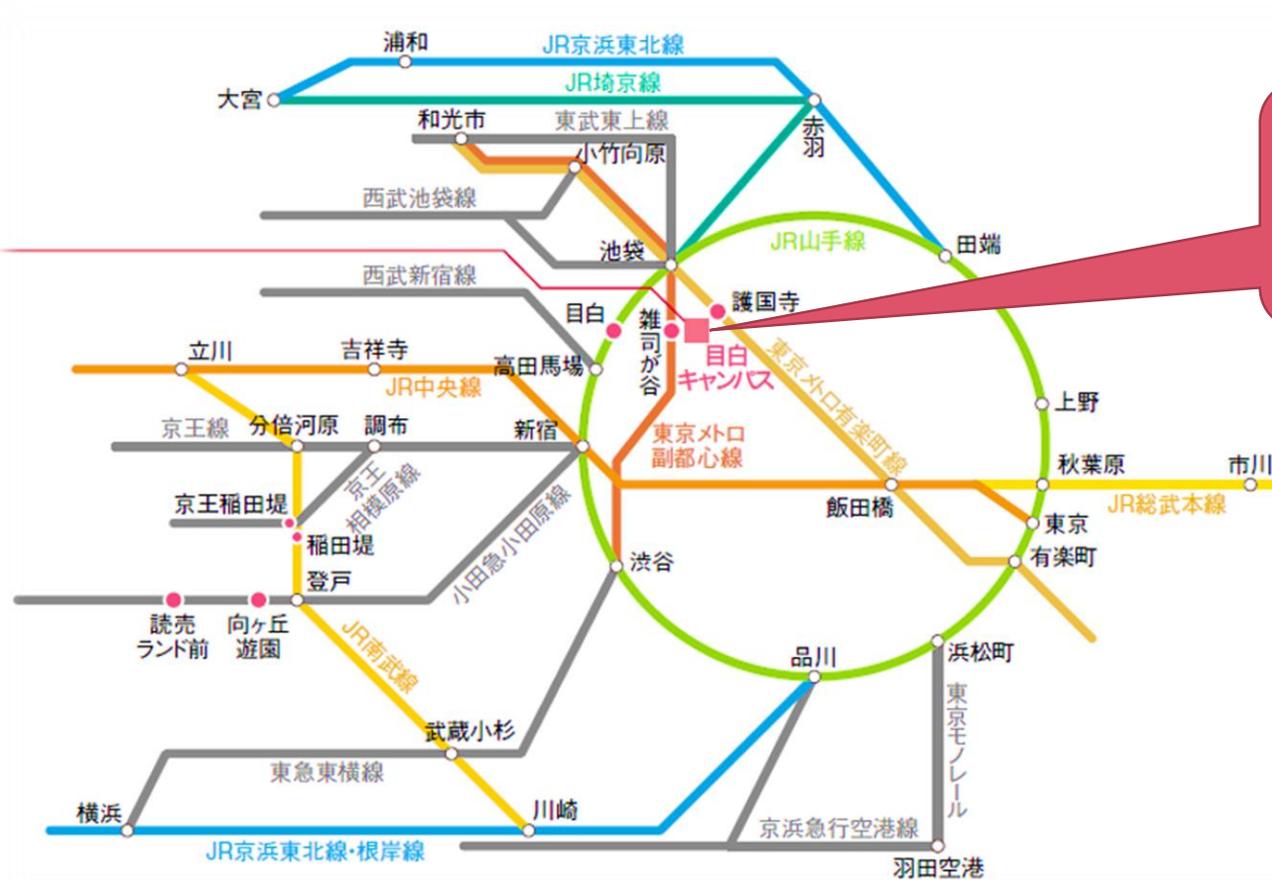
「創立**120**周年」を迎えました！

2021年4月、全学部が目白ワンキャンパスになりました！
教室、学生滞在スペースも新設されました。





「目白キャンパス」所在地：東京都文京区目白台2-8-1



最寄り駅は、JR線「目白駅」
東京メトロ「雑司が谷駅」「護国寺駅」

近くには、
早稲田大学・学習院大学・
お茶の水女子大学・東京音楽大学など
たくさんの大学があります。

都心の山手線の内側にありながら、
緑豊かで静かな環境が魅力です！

学部・学科の種類



「6学部15学科」 を擁する女子の総合大学

(2024年4月より)

「自ら考え、学ぶ意欲を持つ機会をつくる」
ことで、現代社会から求められる高度な知識・
技能を身に付け、個々の学生の人間性をより
魅力的なものへ昇華していきます。

女子大学では
関東最大級
の規模

学生数は
約6,500名

1学年1学科の
学生数は
30～150名
程度

•建築デザイン学科

NEW
2024年4月
新学部設置

建築デザイン
学部 (仮称・届出中)



•国際文化学科

2023年度
4月開設

国際文化学部



•児童学科
•食物学科
•被服学科
•家政経済学科

家政学部



•日本文学科
•英文学科
•史学科

文学部



•現代社会学科
•社会福祉学科
•教育学科
•心理学科

人間社会学部



•数物情報科学科
•化学生命科学科

理学部



私立女子大で
唯一の学部

1. 日本女子大学のDX取組事例（生成AIの活用）

2. 日本女子大学のDX人材育成の取組

- ・DX人材育成の取組の背景
- ・取組1:DXコア人材に必要なスキル整理
- ・取組2:DXコア人材の育成方針策定
- ・取組3:DXコア人材の育成

DX取組事例のご紹介

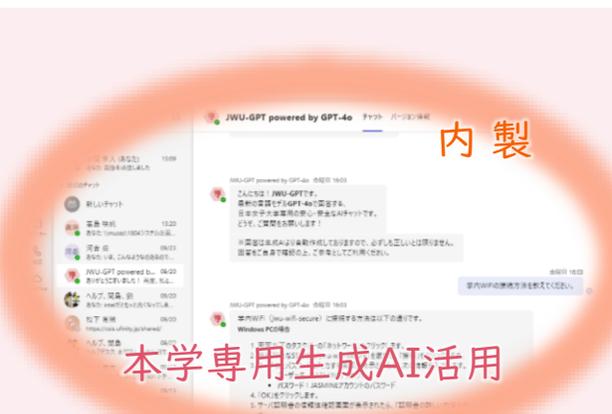
Digital DX Transformation

内製

仮想コンピューター演習室
 拡充検討
 Azure VDIを検証中

本学専用生成AI活用

先進技術の応用



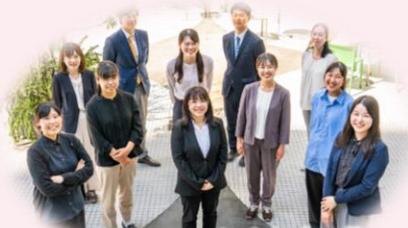

ChatGPT

各種IT研修
 ニーズやトレンドに対応

DXコア人材育成
 更なるDXの加速

IT・DXスキル診断
 組織・個人のスキルを可視化

人材育成


教職員業務効率化

内製

電子稟議
 クラウド上で稟議が完結

勤怠管理クラウド化
 出退勤打刻を自動化



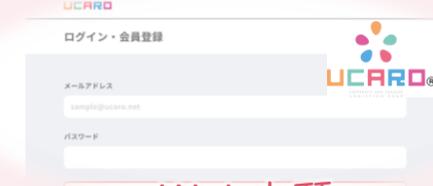

学園サービス向上

内製

Web出願
 決済データも基幹SYS連携

e-出席カード
 学生のスマホから出席登録

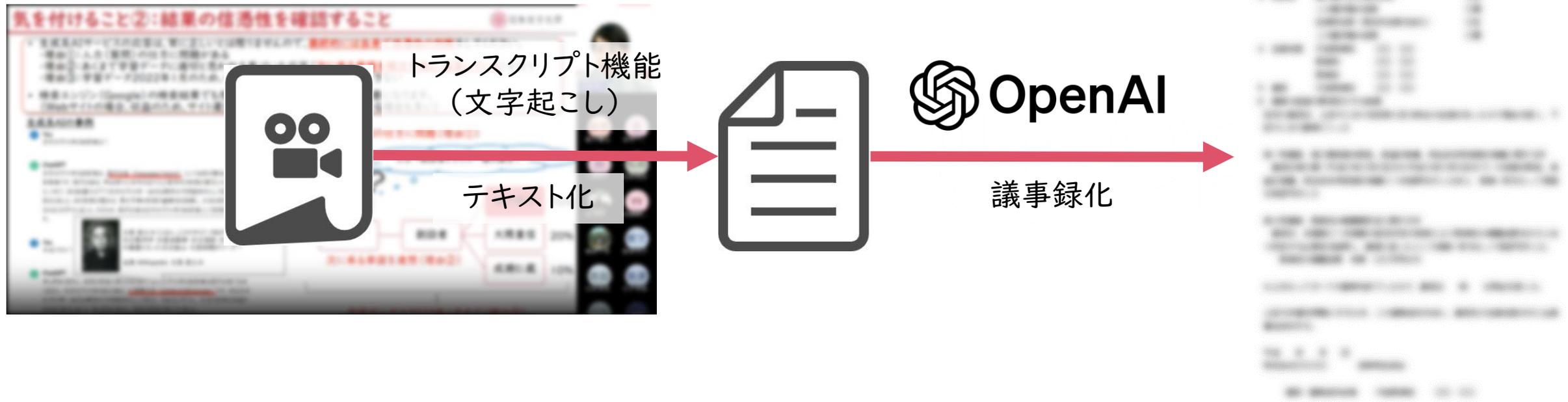
機材セルフレンタル
 学生証とQRコードで管理





Etc...

1. 会議の動画・音声ファイルをWordオンラインのトランスクリプト機能（文字起こし）によりテキスト化
2. テキスト化した内容を生成AIより議事録を生成



- 本学専用の生成AIサービス(JWU-GPT※)を内製で開発
- Microsoft社のTeamsより、OpenAI社のGPT-4(最新言語モデル)に問合せ可能

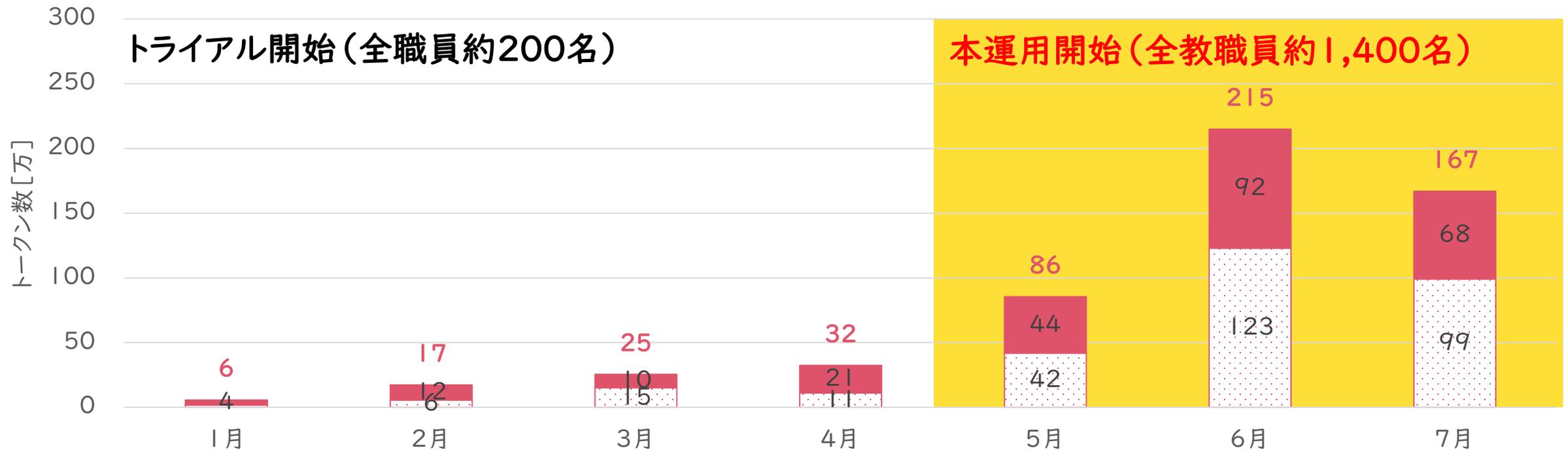
※Japan Women's University - Generative Pre-trained Transformer



The screenshot shows a Microsoft Teams chat interface. On the left is a sidebar with navigation icons for chat, teams, calendar, and OneDrive. The main chat window is titled "JWU-GPT powered by GPT-4o". A user has sent a message: "日本女子大学の特徴を3つ教えてください。" (Please tell me 3 features of Nippon Women's University). The AI bot has responded with a detailed answer in Japanese, listing three main features: 1. History and Tradition, 2. Broad Academic Fields, and 3. International Exchange and Global Perspective. Below the response is a follow-up question: "同じトピックの質問を続けますか？(残り5回)" (Do you want to continue asking questions on the same topic? (5 questions remaining)). At the bottom, there are two buttons: "はい" (Yes) and "いいえ" (No).

- 2024年1月～7月の利用実績で約548万トークン（≒文字）の入出力を確認

□ 入力トークン数 ■ 出力トークン数 合計トークン数



生成AIの取組み③（生成AI型チャットボット）

- 現在は、検索拡張生成 (RAG: Retrieval-Augmented Generation)という技術を活用し、学内情報の応答に対応させた。
- 仮想的な一次問合せ窓口のサービスを導入に向けたプロジェクトを推進中

検索拡張生成なし

どのコンピューター演習室で、ファイル転送ソフトが使えますか？

JWU-GPT powered by GPT-4o 14:48



どのコンピューター演習室でファイル転送ソフトが使用できるかについては、具体的な設定やアクセス権限が各教育機関や施設によって異なります。一般的には、以下のステップを取ることでその情報を入手することができます：

1. キャンパスIT部門に問い合わせる: 直接IT部門に連絡を取り、どの演習室でファイル転送ソフトがインストールされているか、あるいは利用可能かを確認してください。
2. 公式ウェブサイトや学生ポータルの確認: 多くの教育機関では、学生ポータルや公式ウェブサイトが演習室の設備や利用可能なソフトウェアのリストを提供しています。
3. 担当教授や講師に確認: 担当の教授や講師がその情報を持っている場合もあるので、授業や講義の中で質問してみてください。
4. 演習室内の掲示物を確認: 演習室内やその周辺には、利用可能なソフトウェアや注意事項についての掲示があることが多いです。
5. 同級生や先輩に聞く: 同じ授業を受けている同級生や、過去に同じ授業を受けた先輩に聞くと、経験に基づいた情報を得られることがあります。

これらの方法を活用して、どの演習室でファイル転送ソフトが使用できるかを確認してみてください。

検索拡張生成あり

どのコンピューター演習室で、ファイル転送ソフトが使えますか？

JWU-GPT powered by GPT-4o 14:46



ファイル転送ソフトの使用に関して、以下のコンピュータ演習室で利用可能です：

- 演習室1
- 演習室2
- 演習室3
- 演習室4-5
- 演習室6
- 演習室7
- 演習室9
- 演習室10

これらの室では、FFFTPなどのファイル転送ソフトが利用できます【4:0+source】。

1. 日本女子大学のDX取組事例（生成AIの活用）

2. 日本女子大学のDX人材育成の取組について

- ・DX人材育成の取組の背景
- ・取組1：DXコア人材に必要なスキル整理
- ・取組2：DXコア人材の育成方針策定
- ・取組3：DXコア人材の育成

DX人材育成の取組の背景

- 更なるDX推進には、人材へのアプローチが必要不可欠という課題に直面した
- DX推進の要素として人材育成の取組方針を定めた

DX効果

最もニーズを把握している
現場が率先した改革こそ
有効なDX推進

DX速度

システム課のみでは
年間の対応件数に限界
現場の協力が必要

DX規模

大規模な変革には、
現場間の連携が必須

人材へのアプローチ

現場でDX推進の核となる人材（DXコア人材）を育成

【ご参考】DXコア人材育成の取組目的を整理

目的①現場での業務改革

業務の変革を実現するうえで効果的な手段は、現場からのアイデア(シーズ)やニーズに基づくため、これらをスムーズに実行可能な人的な仕組みを構築します。
また、現場の担当が課内業務の自主的な問題解決に取りくむことで、個人の能力開発および組織全体として業務改革の速度と量の相乗効果を生み出すことを目標とします。

目的②組織での業務改革

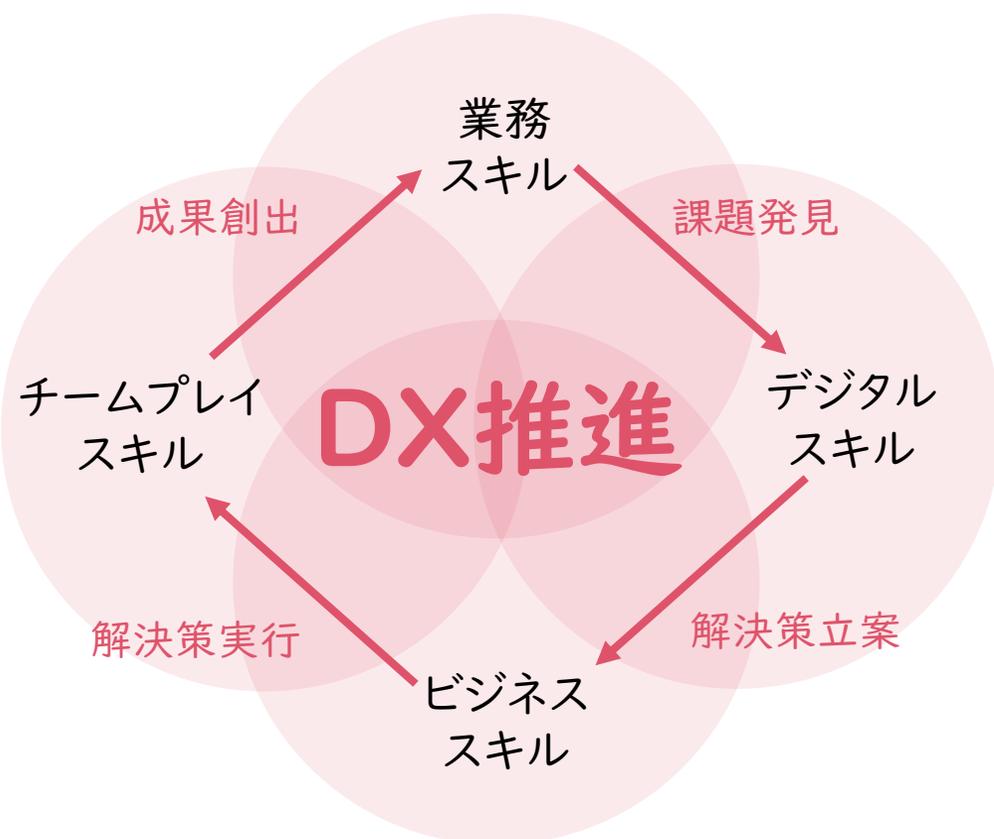
大規模な変革を実現するためには、部門間の連携が欠かせないため、柔軟かつ迅速に動けるプロジェクト体制の構築と実行を検証します。
さらに、育成した人材が問題解決に向けて積極的に取り組むことにより、デジタル変革(DX)や業務改革の実績を積み、それを将来の業務やキャリアの発展に役立てます。

目的③学園の風土改革

学園の業務を効率化し、高付加価値の業務へと転換するための改革を進められる人材を、長期的視野で育成します。
さらに、学園の将来的な変革を牽引するための人材育成を、事務局全体で協力して行うことで、組織全体に改革への意識と風土を根付かせます。

- 取組1：DXコア人材に必要なスキル整理
- 取組2：DXコア人材の育成方針策定
- 取組3：DXコア人材の育成
 - STEP① レベル把握
 - STEP② DXコア人材推薦
 - STEP③ DXコア人材研修

- 大学職員のDXコア人材として、DX推進には「①業務スキル」「②デジタルスキル」「③ビジネススキル」「④チームプレイスキル」をバランスよく高めていくことが必要と整理した。

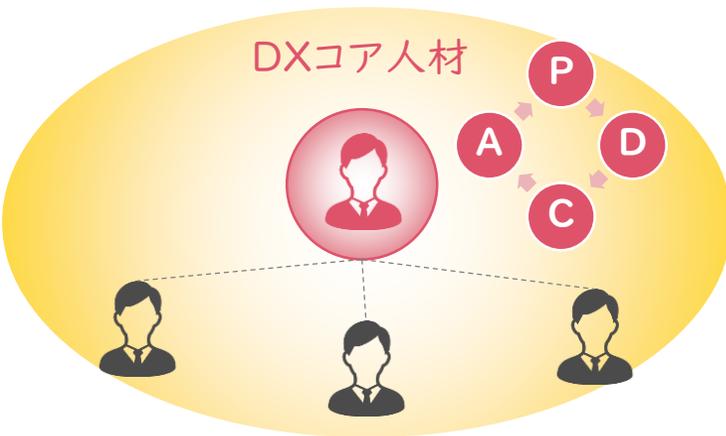


スキル	概要
①業務スキル	本学の業務運営に必要なスキル (課題発見に関連するスキル)
②デジタルスキル	ITに関する興味関心や知識 (解決策立案に関連するスキル)
③ビジネススキル	論理的思考、 プレゼンテーション(説明能力/説得力)能力 (解決策実行に関連するスキル)
④チームプレイスキル	利害関係の異なる組織間の折衝や 成果創出に至る計画・分担等のマネジメント力 (成果創出に関連するスキル)

参考資料：[#シン・トセイ 都政構造改革推進チーム\(東京都公式\)note](#)

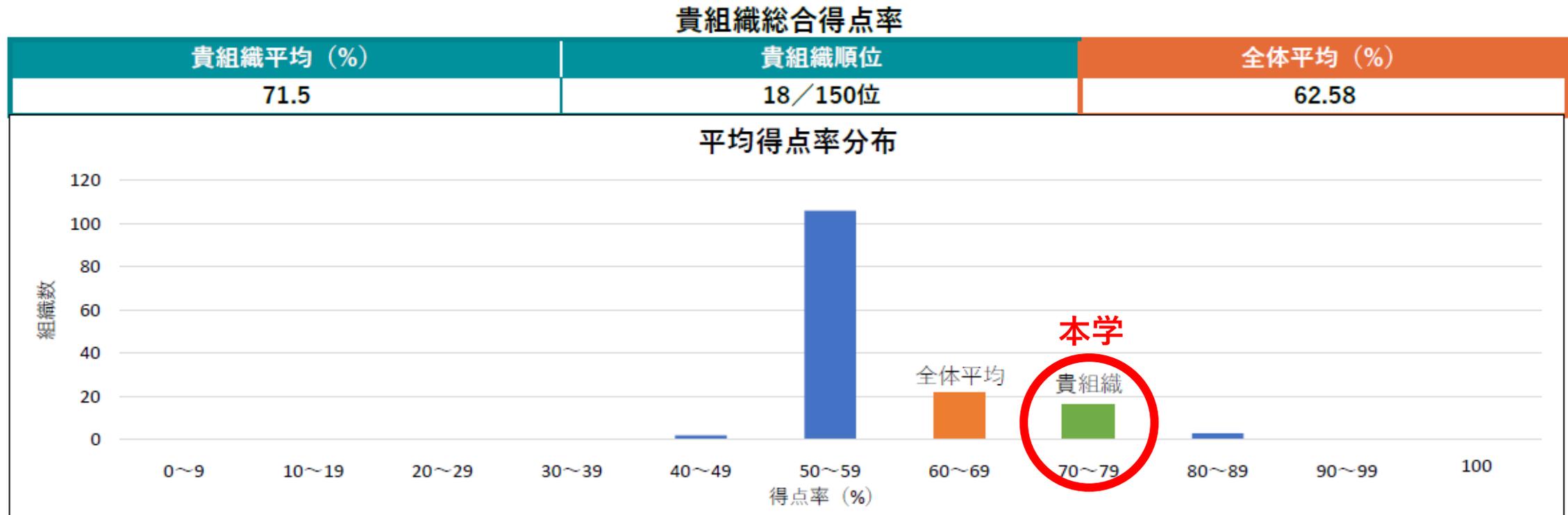
取組2:DXコア人材の育成方針策定

- 下記、STEPで人材育成を進める。
 - STEP1:デジタルスキルのレベル把握を実施し、DXコア人材を推薦
 - STEP2:DXコア人材はビジネススキルの研修(問題解決研修)を受講
 - STEP3:問題解決研修の内容を実業務で実践し、1年間の取り組みで成果を創出

STEP①:レベル把握	STEP②:階層別研修	STEP③:実践研修
	<p>DXコア人材</p> 	
2023年度10月	時期:2024年度5月	2024年度5月～
業務スキル(OJT)	業務スキル(OJT)	業務スキル(OJT)
デジタルスキル	デジタルスキル	デジタルスキル
ビジネススキル	ビジネススキル	ビジネススキル
チームプレイスキル	チームプレイスキル	チームプレイスキル

取組3:DXコア人材の育成 (STEP① レベル把握)

- DX・ITや改革の親和性の現状把握のため、DX・ITリテラシー診断を全専任職員が受講
【組織結果】本学は、他企業との相対比較の結果、DXに対するポテンシャルがあると判明
【個人結果】DXコア人材の推薦時の情報として活用



※内田人材開発センタ i測報告書より抜粋

取組3:DXコア人材の育成 (STEP② DXコア人材推薦)

- 各部から1名程度、部長推薦によりのDXコア人材を選抜
- 計11名がDXコア人材としてプロジェクトに参画

※主に中堅職員(20代後半から30代半ば)で構成。

部	課	イニシャル
法人企画部	広報課	KTさん
総務部	総務課	MKさん
財務部	経理課	KTさん
管理部	システム課	MYさん
入学部	入試課	MHさん
学務部	研究支援課	CMさん
学生生活部	学生支援課	KNさん
	国際交流課	CIさん
通信教育・生涯学習事務局	通信教育課	KMさん
図書館事務局	図書館課	NKさん
	成瀬記念館事務室	KKさん



- DXコア人材は、問題解決フレームワークに関する外部研修を受講
- 将来的な改革プロジェクトを進めるうえでの共通理解としても重要と考える



問題の設定

「解決すべき問題は何か？」を検討する段階

問題点の特定

「どこに問題が集中しているか？」の観点で問題点を絞り込む段階

原因の究明

特定した問題点を引き起こす「真因(真の原因)」を究明する段階

解決策の立案

真因を解消する打ち手を洗い出し、絞りこみをする段階



取組3:DXコア人材の育成 (STEP③ DXコア人材研修)

- DXコア人材は、研修受講後、業務上で課題を見つけ、問題解決に取り組む
- 実践的な問題解決能力を醸成を狙うとともに、各種の報告会を設定し、論理的な説明能力および成果創出のためのモチベーションを保つ工夫
- 報告会に管理職も参加することで、学園の風土を変革に寄与することを想定

年度	月	内容
2024 年度	5	問題解決研修受講
	6	実践研修
	7	テーマ報告会
	8	
	9	
	10	
	11	
	12	中間報告会
	1	
	2	
	3	
	2025 年度	4
	5	成果報告会



課	取組概要
広報課	ブランディング・広報活動の強化
総務課	規定運用にかかわる業務効率化
経理課	学費納入にかかわる問合せの削減
システム課	柔軟なコンピュータ演習室の展開
入試課	入試問合せの削減
研究支援課	研究費執行の不備削減
学生支援課	学内奨学金の見直し
国際交流課	交換留学生の出願手続き効率化
通信教育課	教職業務の活性化
図書館課	図書延滞率の抑制
成瀬記念館事務室	未整理資料の減少



今後は、
DXコア人材の改革規模を拡大
次世代への継承
を構想中

ご清聴、ありがとうございました。